

# 第5回地域づくり政策セミナー

○平成31年2月25日(月) 第5回地域づくり政策セミナー「強靱なインフラと災害時の連携」を約300人の参加で開催しました。

○セミナーでは、近年、気象の凶暴化により大規模災害が頻発・激甚化する中、防災・減災対策、災害を意識した強靱なインフラの備えの必要性及び今後も起こり得る災害に対し、災害現場での経験等を生かした対応のあり方や次世代への伝承等について、様々な分野の方々に多面的な知見をご紹介いただきました。

○基調講演では、災害知見とインフラの役割や技術について、事例報告では、貴重な体験について、パネルディスカッションでは、災害に際しての備えについて重要な示唆をいただきました。

**第5回地域づくり政策セミナー**

**強靱なインフラと災害時の連携**  
～多様な担い手と次世代への伝承～

「平成」約30年を振り返ると、阪神大震災、東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨など自然災害が多発した時代ではなかったとしても、特に近年、気象の凶暴化により大規模災害が頻発・激甚化する中、防災・減災対策、災害を意識した強靱なインフラの備えが不可欠であると見えます。

一方、災害を経験した被災地では、早期に復旧・復興を進める上での多様な担い手・支援組織との連携が重要課題に挙げられています。これらを受け本セミナーでは、今後も起こり得る災害対応のあり方や次世代への伝承等について、様々な分野の方々に多面的な知見をご紹介いたします。

**日時** 平成31年2月25日[月] 13:30～17:00 (開場 12:30)

**会場** 電気ビル共創館 4F 電気ビルみらいホール

**内容**

13:30  
【開会挨拶】(一社)九州地域づくり協会 理事長 佐竹 秀郎  
【来賓挨拶】国土交通省 九州地方整備局長 伊勢田 敏 氏

基調講演 13:45～14:45  
◆「強靱なインフラと災害時の連携」(一財)水源環境センター 理事長 森北 佳昭 氏

事例報告 14:45～15:30  
◆被災地からの報告 新城市 総務部 復興推進課長 梅田 功 氏  
◆九州地方整備局の取り組み 九州地方整備局 総務防災課長 川野 晃 氏  
◆ボランティア活動を通じて 被災地復興支援チーム 代表 矢嶋 愛 氏

パネルディスカッション 15:40～17:00  
◆災害に備える 【コーディネーター】九州大学大学院アジア防災研究センター長 三谷 泰浩 氏  
【アドバイザー】(一財)水源環境センター 理事長 森北 佳昭 氏  
【パネリスト】新城市 総務部 復興推進課長 梅田 功 氏  
(一社)九州経済連合会 社会整備部長 金城 均 氏  
※五十音順 九州地方整備局 企画部長 藤巻 浩之 氏  
九州地方整備局 企画部長 矢嶋 愛 氏  
被災地復興支援チーム 代表

◆主催/一般社団法人 九州地域づくり協会 ◆後援/国土交通省 九州地方整備局、一般社団法人 九州経済連合会、九州商工会議所連合会、公益財団法人 九州経済調査協会

CPDプログラム単位 3.3



〈基調講演、事例報告、パネルディスカッション登壇者〉



森北 佳昭 氏      梅田 功 氏      川野 晃 氏      矢嶋 愛 氏      三谷 泰浩 氏      金城 均 氏      藤巻 浩之 氏